平和

ヒロシマ平和メディアセンター http://www.hiroshimapeacemedia.jp/

「折り鶴ノート」を手にするニューヨークのスタイベサント高の生徒たち （「ピース マインズ ヒロシマ」提供）

折り鶴ノート 羽ばたく

13カ国の子どもに3845冊配布

今後の活動方針を話し合う川野代表（左から3人目）たち

原爆の子の像（広島市中区）に国内外から寄せられた千羽鶴の再生紙で学習ノートを作り、海外の子どもたちに届ける活動が広がりを見せている。平和団体「ピース マインズ ヒロシマ（川野登美子代表）」が昨年1月に開始以来、協賛企業・団体は約80、配布は13カ国3845冊に上る。

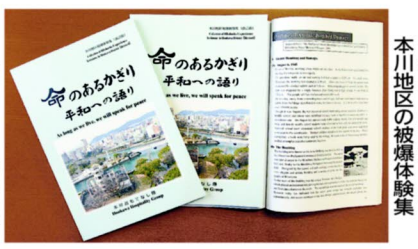
「折り鶴ノート」はB5判54ページ。表紙の裏などに、川野代表の同級生で像のモデルになった故佐々木禎子さんの願いや核被害の基礎知識、鶴の折り方を日本語と英語で併記する。平和首長会議（会長・松井一実広島市長）とも連携。核兵器保有国の米国と英国、キューバなどの小中高生に贈った。

米ニューヨークのスタイベサント高では、ヘリンスキチ絵教諭（58）が平和学習に活用している。「再生紙のノートの美しさに感動した」とフェニックス・ザンさん（17）。サラ・ステビンズさん（16）も「世界平和や核拡散問題について考えるようになった」と話す。

「ピース マインズ」は広島県中小企業家同友会の有志で発足し、最初に1万1千冊を作製した。協賛の輪を広げ、増刷につなげたい考えだ。桜井剛司さん（56）＝安佐南区＝は「ノートを手にした子どもたちが平和へのアクションを起こすきっかけになってほしい」と話す。（桑島美帆）

本川被爆体験集 12年ぶりに改訂

住民グループ 英訳も



12年ぶりに改訂された本川地区の被爆体験集

爆心地に近い広島市中区本川地区の被爆体験集「命のあるかぎり―平和への語り」が12年ぶりに改訂された。地元の住民グループ「本川おもてなし隊」（田中八重子会長）が新たに5人を加えて計20人分の手記集とし、うち15人分を英訳。2千部を発行した。

5人のうち2人は在米被爆者で、本川国民学校を1945年3月に卒業したハワイ州のハイキ光子さんと、広島一中3年の時の被爆体験を伝えるカリフォルニア州の更科洵爾さん。広島へ里帰り中に体験を語ってもらった縁で、手記を寄せてくれた。

本川地区社会福祉協議会が製作した前回に続き、本川国民学校で被爆し児童で唯一助かった故居森清子さんらの体験も載せている。

英訳作業は西区のNPO法人ワールド・フレンドシップ・センターの協力を得た。A4判143ページ。冊子データのCDも作成中で、こちらには全20人分の英訳を収録。国内外から広島を訪れる人たちに配布する。事務局の石田さん☎082（231）1325。（山本祐司）

ジュニアライターがゆく

原爆資料館（広島市中区）の本館が展示を一新させ、4月下旬にリニューアルオープンしました。大規模改修で東館と本館を交互に閉館していたため、両方を見学できるようになったのは約5年ぶりです。本館は犠牲者の遺品など実物資料を中心に展示し、被爆の惨状を伝えています。連日、大勢の市民や国内外からの観光客が訪れ、74年前の「あの日」に思いを重ねています。中国新聞ジュニアライターも館内を見学しました。印象に残った展示コーナーや遺品を紹介します。

新しくなった原爆資料館

実物300点 感性に訴え

遺影や家族写真添える

見る

加藤副館長（左端）の案内で本館を見学するジュニアライター

加藤秀一副館長（58）の案内で、まずは「被爆の実相」がテーマの本館を見学しました。「魂の叫び」など4コーナーに分かれており、原爆犠牲者の遺品である焼け焦げたもんぺや、黒い雨の跡が残る壁など、約300点の実物資料が並びます。

それぞれの資料には、日本語と英語の説明文が付いています。加藤副館長は「文章はできるだけ短くしました。実物をじっくり見て、持ち主や遺族の気持ちを感じ取ってもらいたい」と言います。犠牲者の遺影や家族写真を添えて、来館者の感性に訴えています。

リニューアルオープンした原爆資料館本館

朝鮮半島出身者や東南アジアからの留学生など、外国人も被爆した事実を伝えるコーナーが新設されました。国籍を問わず、原爆は市民の命を無差別に奪ったことが分かります。

本館から続く見学ルートの東館では、原爆のしくみや開発の歴史、放射線被害について説明しています。世界が現在も核兵器に脅かされている実態を学びます。タッチパネル（メディアテーブル）の前で、見学者が戦後の平和活動の歩みを紹介する映像に見入っていました。

外国人の姿を多く見かけます。来館者の4人に1人は外国人だそうです。加藤副館長は、「今なお続くヒロシマの苦しみや訴えを、世界に発信する場にしたい」と話しました。

私たちの心に残った展示

焼けたブラウス 17歳 最後まで家族思う

大本利子さんの焼けたブラウス（大本徳夫さん寄贈）

このブラウスの持ち主は、当時17歳の大本利子さん。おしゃれが大好きで、弟思いの優しいお姉さんだったそうです。

空襲に備えて防火帯の空き地を造るため家を取り壊す「建物疎開」の作業に向かう途中、爆心地から約1・7キロの比治山橋（現広島市南区）で被爆しました。その時に着ていたブラウスです。強烈な熱線で、右胸あたりの布地や袖は焼け落ち、穴が開いています。

原爆投下から8日後、家族が見つけた時には、髪と耳はなく、両目は飛び出ていました。「私がいたら、弟に嫁が来んようになる―」。変わり果てた自身の姿を悔やみ、痛みに苦しんで約2カ月後に亡くなりました。

生きる希望を抱くことはできず、助かったら家族に迷惑を掛けてしまうと心配したのです。胸が痛みます。

握り締めた革ベルト 両親からの入学祝い

南口修さんが握り締めて持ち帰った革ベルト（南口勝さん寄贈）

旧制広島一中（現国泰寺高）の1年生だった南口修さんは、大勢の同級生たちと雑魚場町（現広島市中区）で建物疎開の作業中に被爆し、亡くなりました。当時12歳でした。

顔の見分けがつかないほどの大やけどを負いました。皮膚は垂れ下がり、パンツ一枚の姿で自宅に運び込まれた時、この革ベルトをしっかり握り締めていたそうです。両親からもらった入学祝いでした。6日夕、母と兄に見守られて息を引き取りました。

革ベルトはきれいな状態で残っています。原爆で家族を失った悲しみを胸に、遺族が大切に保管していたことが伝わってきます。

やけどをした人たちの写真と原爆の絵が並んだ一角

8月6日の惨状

同世代に起きた現実

本館に入って最初のコーナー「8月6日の惨状」には、爆風で折れ曲がった鉄骨や、高熱で溶けたガラスの塊など大型資料が並びます。原爆で破壊された広島の町並みを想像させます。

中央のガラスケースには、建物疎開の作業中に原爆に遭った子どもたちの焼けた衣服や血痕の付いたかばんなどを集めて展示しています。私たちと同世代です。

重いやけどを負った人たちの写真と、「市民が描いた原爆の絵」を交互に並べた一角では、思わず目を覆いたくなります。しかし、本当に起こったことです。写真と絵の前に立つと、そこに自分がいたかのような感覚になります。

私たちが担当しました

高2 フィリックス・ウォルシュ　高2 伊藤淳仁　高1 庄野愛梨　中3 桂一葉　中2 中島優野

次回は7月15日に掲載します。取材を通して中国新聞ジュニアライターが感じたことをヒロシマ平和メディアセンターのウェブサイトで読むことができます。

中国新聞文化センター ちゅーピーカレッジ

人生を彩る 大人の学び

場…場所 日…日時 時…時間 ¥…受講料（税別） 材…材料費（税込） 定…定員 会員…ちゅーピーカレッジ（クレドビル教室・メルパルク教室）の会員

◎常設講座は入会金2,160円、月会費1,080円が別途必要です。
◎体験受講には1回分の受講料が必要です。

7/1(月)スタート 常設講座
心身ともに芯をつくる ～地唄舞 Beauty&Health～
日本の伝統芸能「地唄舞」の基礎となる立ち方や呼吸法、歩き方を取り入れた体幹を鍛える新感覚のエクササイズ講座です。
講師 地唄舞花崎流名取 花崎 伶伊
場 クレドビル教室 日 毎週月曜 13:20～14:20 ¥ 1回1,000円 定 8人

7/12(金)スタート 体験OK 常設講座
初めての素敵なハワイアンフラ
初心者対象のクラス。ハワイアンの心地よい調べにのって、いつまでも若々しく踊りましょう。
講師 マハロフラスタジオ ロゼ&グリーン主宰 近森 翠 安友 三津子
場 クレドビル教室 日 第2・4金曜 12:00～13:00 ¥ 1回1,500円 定 15人

7/13(土)スタート 体験OK 常設講座
前衛書道（中学生～大人） 新傾向書道（年中～小学生）
筆で、大胆かつ自由に自分の心を表現してみませんか。子どもから大人まで、一緒に書道を楽しみましょう。希望者には実用書も指導します。
講師 太陽社同人・東洋書芸院審査同人 佐野 麻理子
場 クレドビル教室 日 第2・4土曜 13:00～15:00 ¥ 1回2,000円 年中～小学生は1回1,500円 材 5,000円程度（書道用具一式） 定 15人

7/13(土)スタート 常設講座
真多呂人形（木目込創作人形）
基礎から創作まで、優美で個性溢れる人形を制作してみませんか。教授資格を取得できるコースも用意しています。
講師 真多呂人形学院 雅会理事 大野木 真恒華
場 クレドビル教室 日 第2土曜 13:00～17:00 ¥ 1回5,000円 材 5,000円～ 定 10人

7/2(火)スタート 体験OK 常設講座
ハーブとアロマで植物ライフ 女性限定
ラベンダーやミントなど香りのあるハーブを暮らしに生かすヒントを提案します。素敵な植物ライフを楽しみませんか。
講師 NPO緑の風景理事長 高松 雅子 三浦 美枝
場 メルパルク教室 日 第1火曜 10:00～12:00 ¥ 1回2,000円 材 1回1,000円程度 定 10人

7/5(金)スタート 体験OK 常設講座
日本古代の皇位継承と対外関係 ～悲劇のプリンスたち～
皇位継承・対新羅外交を軸に、非業の死を遂げた悲劇のプリンスたちにスポットをあて、日本古代の政治過程を貫く論理を明らかにします。
講師 広島大名誉教授 下向井 龍彦
場 メルパルク教室 日 第1金曜 13:20～14:50 ¥ 1回2,000円 定 20人

7/6(土)スタート 体験OK 常設講座
恥をしのんで初めて料理
初料理、みんなで学べば怖くない!包丁や鍋の選び方から教えます。老若男女、料理はほとんど初めてという方、ぜひご参加ください。（デモンストレーションと試食）
講師 日本料理(株)以多屋代表 専門調理師 板谷 恭光
場 メルパルク教室 日 第1土曜 13:30～16:00 ¥ 1回3,000円 材 1回1,000円 定 16人

7/5(金) 1日講座
包丁を研ぐ ★砥石1本お持ち帰り付★
包丁の切れ味は、料理の味を左右するもの。包丁の研ぎ方を学んだあとに、基本的な持ち方や使い方、野菜の切り方を学びます。
講師 日本料理(株)以多屋代表 専門調理師 板谷 恭光
場 メルパルク教室 時 10:00～11:30 ¥ 会員 2,000円 一般 3,500円 材 2,000円 定 15人

お申し込みは各教室へ ※事前に電話でご予約ください
クレドビル教室 ☎082-962-4111 広島市中区基町6-78 基町クレド（パセーラ）10階 受付時間／月曜～土曜 9:30～18:30 日曜 9:30～15:00 祝日休
メルパルク教室 ☎082-222-8502 広島市中区基町6-36 ホテルメルパルク広島7階 受付時間／月曜～土曜 9:30～18:30 日曜祝日休